



2022年度 akta活動報告会

おかげさまで20周年！皆様のご協力に感謝！
ありがとう！そして、これからもよろしく！

community center aktaは、
2003年9月に設立しました。

特定非営利活動法人akta

所在地

〒160-0022
東京都新宿区新宿二丁目15番
13号 第二中江ビル302号室

電話番号

03-6380-0833（木曜～日曜
16時～22時）

FAX番号

03-6380-0575

代表者 理事長

岩橋恒太

設立

2012年6月1日

役職者

※2023年6月1日現在

理事 (理事長)	岩橋恒太
-------------	------

理事	荒木順
----	-----

理事	江島啓介
----	------

理事	柴田恵
----	-----

理事	木南拓也
----	------

監事	市川誠一
----	------

aktaはアジア最大といわれる、ゲイバーや商業施設が連なる新宿2丁目を拠点にCommunity Based Organizationとして活動します。

ビジョン

私たちの活動は、全ての人がHIVとともに生きているという視点から、多様なセクシュアリティと性の健康の認知と理解をはかり、だれもが自分らしく暮らせる街づくりに寄与することを目的とします。

コミュニティの中からコミュニティに向けて

aktaとは

aktaは2003年からアジア最大といわれる、ゲイバーや商業施設が連なる新宿2丁目を拠点にCommunity Based Organizationとして活動します。

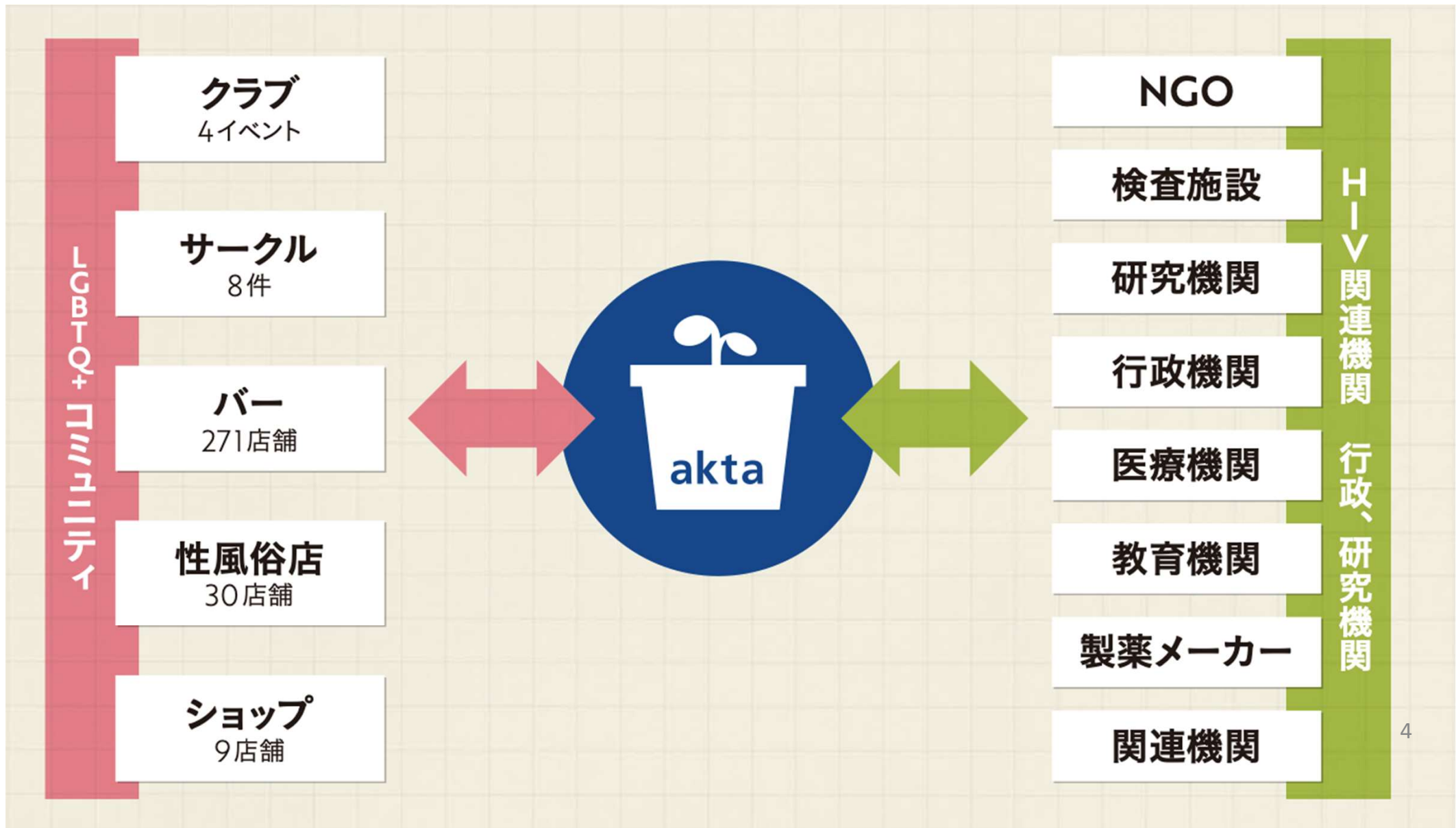
ビジョン

私たちの活動は、全ての人々がHIVとともに生きているという視点から、多様なセクシュアリティと性の健康の認知と理解をはかり、だれもが自分らしく暮らせる街づくりに寄与することを目的とします。



コミュニティの中からコミュニティに向けて

HIVや性感染症など、性の健康のコミュニティでの活動の「ハブ」としてのコミュニティセンターakta



aktaの考える日本のHIV/AIDSの課題



3つのゼロで日本を#UPDATE

【治療・人権】差別・偏見ゼロ

U=UとLiving Togetherにより、コミュニティ
と社会全体のスティグマをなくす

【検査】AIDS発症をゼロ

HIV検査の実施体制と選択肢の強化

【予防】新規HIV感染ゼロ

HIV感染予防に対する啓発の
推進とPrEP・選択肢の拡充



AIDS流行終結に向けたロードマップ

2025年、2030年のターゲットに向け、**日本国内で高速対応が必要**

2023年

- エイズ予防指針の改定
- PrEPの薬事承認？
- 郵送検査キットの使用拡充に関する検討

2024年

- **日本エイズ学会**
学術集会 大会
長をakta岩橋
が担当
(11/28-30・
新宿)



日本エイズ学会
The Japanese Society for AIDS Research

2025年

- UNAIDS・WHO 95-95-95ターゲット(診断95%-治療開始95%-検出限界未満95%)の期限

2030年

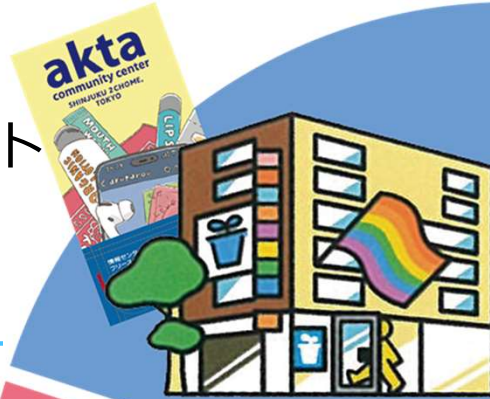
- UNAIDS・WHO 世界でのAIDS流行終結の実現

日本が、**世界で初めてのAIDS流行終結を迎える国**となることを目指します

— 2022年度のポイント —

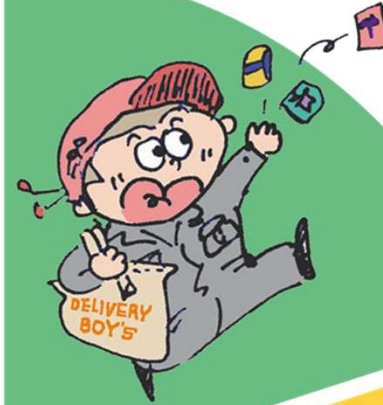
センター

利用者獲得のための
働き・新パンフレット
作成



アウトリーチ

毎週の活動再開
上野・浅草への介入



調査・研究

aktaゆうそう検査
の取り組み



YouTube
Channel

ウェブサイト

人気YouTuberとのコラボ

検査普及

PrEPを見越したクリニック
情報の提供



1

community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2

相談対応

3

予防行動促進プログラム

4

アウトリーチプログラム

5

ウェブサイトを用いた啓発

6

Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

7

HIV検査普及プログラム

8

調査・研究

1

community center akta

–HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

コミュニティセンター akta

スタッフ：常勤4人、非常勤3人、ボランティア：140人

東京都新宿区新宿2-15-13第2中江ビル301

開館時間：15:00 – 21:00 (月・火・水曜, 年末年始除く)

約300軒の商業施設が密集するアジア最大のゲイタウン
“新宿2丁目”でゲイコミュニティの中から、
ゲイコミュニティに向けて普及啓発。

2022年度「同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報等
一式事業（厚生労働省委託事業）」を公益財団法人エイズ予防財団
が受託し、新宿区新宿二丁目にあるセンターの運営をaktaが行って
いる。



(2022年4月から2023年3月まで)

総来場者：2,778人 (前年度比158.26%)

初来場者：1,060人 (前年度比177.26%)

稼働日：199日

相談件数：102件

(うち、セクシュアルヘルスに関する相談：52件)

(2003年9月から2023年3月まで)

累計来場者数：134,136人



メンテナンス休館
6月19日～6月26日

Jonathan展
8月6日～8月28日

aktaゆうそう検査
7月23日～11月12日

大都会の愛し方
11月19日日

カレーフェスタ
1月22日

aktaライブショー
2月23日

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	172	138	119	173	132	315	390	418	275	184	195	267	2778
初来場者	38	37	31	71	49	136	185	192	123	64	58	76	1060
相談件数	12	5	11	15	8	10	5	12	7	8	4	5	102

HAVE A NICE SEX展
4月28日 - 5月15日

SHINGO PRINT ART
10月6日 - 10月30日

In Bloom展
12月1日 - 12月11日

極私的梅毒展
2月 17日 - 3月5日

ジャンジのLR
3月12日

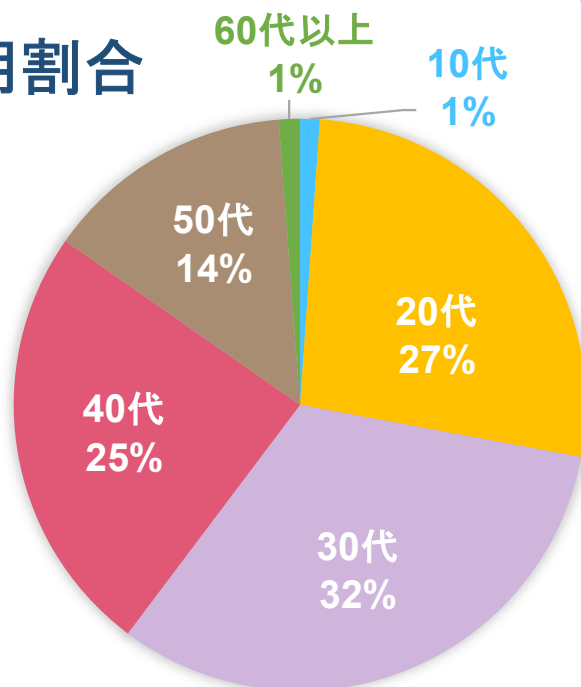
ほんの犬展
9月17日～10月2日

S.オニクボ写真展
11月3日 - 11月26日

上映会
2月25日

上映会
3月11日

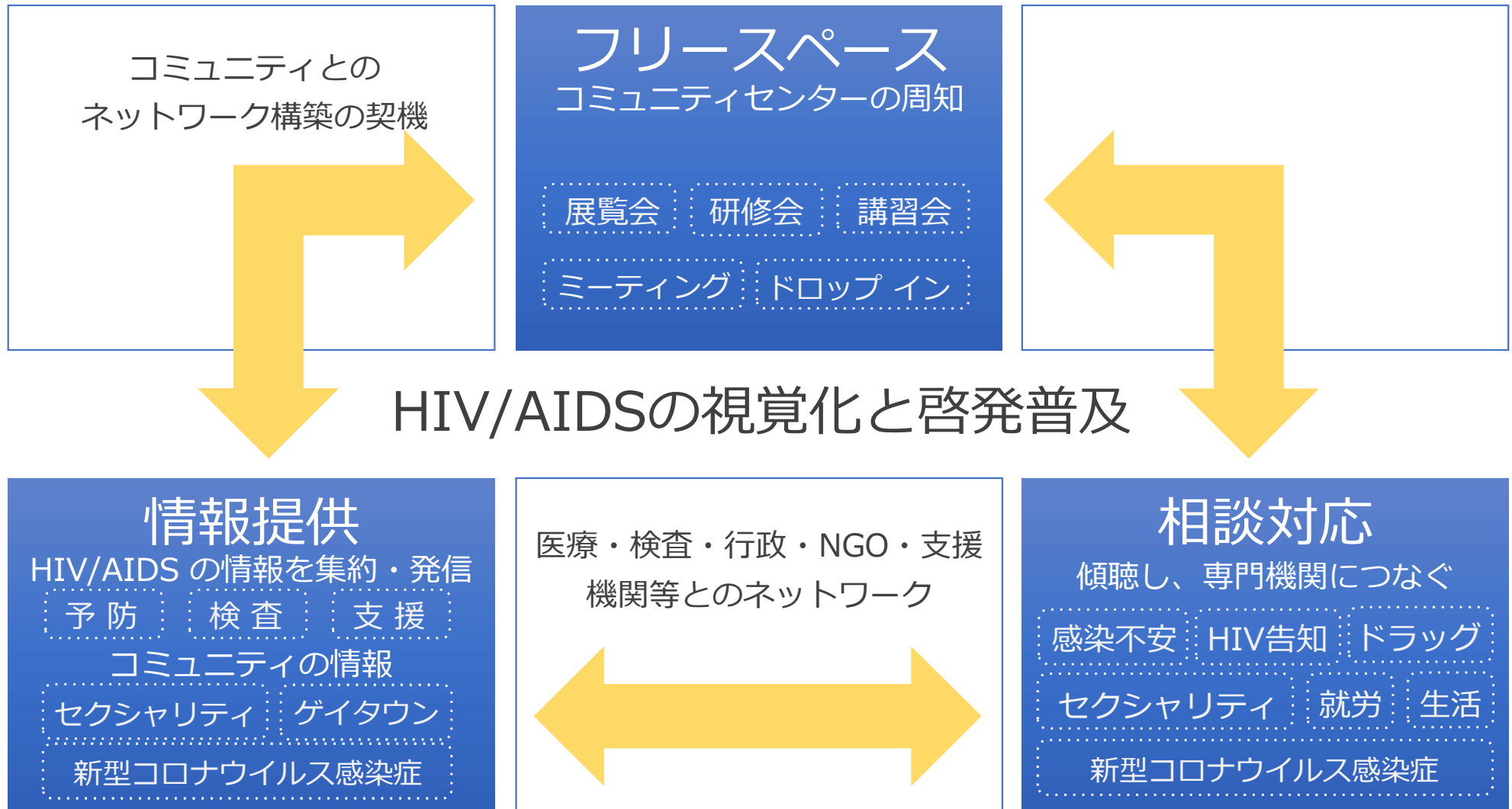
利用割合



利用者の傾向

- ・昨年度に引き続き、30代の利用が最も多かった。
- ・2022年度では、例年に比べ20代の利用割合が高かった。

コミュニティセンターの機能



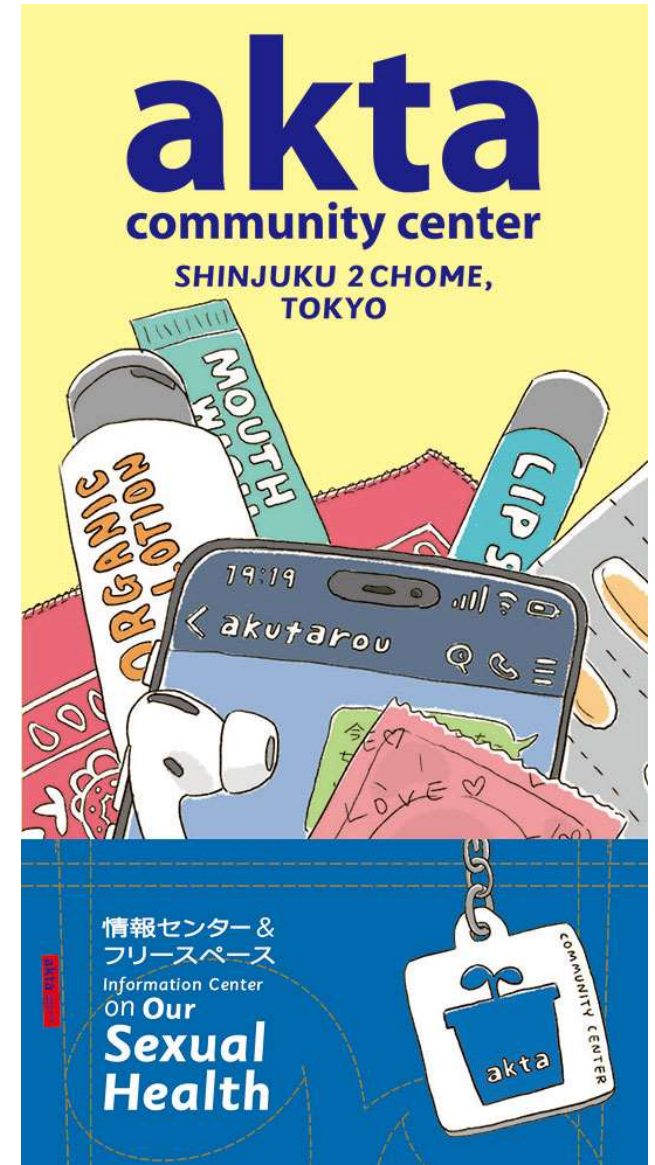
センター周知パンフレット

プログラムの目的：

コミュニティセンターaktaの入口となるパンフレットの見直しをし、まだaktaを知らない、もしくは存在は知っているが来たことがない人たちに対して、まずは来てもらうこと、知ってもらうことを目標に、今までにないデザインにてアプローチを行う。また、活動内での館内（センター）や活動紹介等に使えるものとして制作を行う。

内容：

イラストによる館内図と合わせて、aktaで出来ることを提示することで、館内の雰囲気や過ごし方を提案する。また、中面には新宿二丁目のイラスト鳥瞰図と合わせて、デリバリーボーイズの紹介も合わせて行うことで、活動への誘導も促す。
折加工を活かしたギミックを紹介するための動画も作成！



MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営

新規来場者を増やして、情報にアクセスする機会を提供する

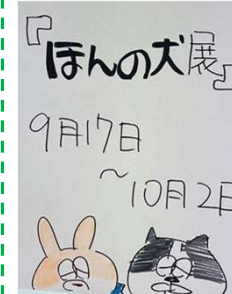
コロナの影響で減少したイベントや展示の開催機会を増やし、来場者獲得に努めた。



**HAVE A NICE SEX
ターポリン展**
4月28日(木)-5月15日(日)
来場者数：67人



**Jonathan
EXHIBITION**
8月6日(土)-8月28日(日)
来場者数：73人



ほんの犬展
9月17日(木)-10月2日(日)
来場者数：84人



SIN5 PRINT ART 展
10/6thu~30sun
SIN5 PRINT ART EXHIBITION
10月6日(木)-10月30日(日)
来場者数：149人



**S.オニクボ写真展
「ダイコンと私としろ
うるり展」**
11月3日(木)-11月26日(土)
来場者数：153人



**フォスター展覧会
「in Bloom展」**
12月1日(木)-12月11日(日)
来場者数：110人



**Kokemaru企画展
「極私的 梅毒展
-Graphic Box-」**
2月17日(金)-3月5日(日)
来場者数：137人



境界線を歩く♪展
3月10日(金)-3月12日(日)
来場者数：73人

- ・その他、「AAセクシャルマイノリティ・グループ」「中国語教室」「竹輪句会」「映画上映会」等の利用があった
- ・各種見学対応（大学、行政等）としてオンラインや直接aktaへの訪問があった

akta talk show

(東京都委託事業)

プログラムの目的：コミュニティへの情報共有、意見交換、普及啓発および専門家とのネットワーキング
対象なる人や施設：コミュニティの人たち、商業施設のオーナーやスタッフ、aktaボランティアスタッフ
HIVに関連した活動をしている人たち、LGBTQ+

実施内容：

ゲイ・バイセクシュアルの健康に関わる最新研究の勉強会 **NEW!**



① 10月20日(木)

「コロナ禍における保健所でのHIV検査数の変化について」

出演者：江島啓介（インディアナ大学助教）

司会：岩橋恒太(akta)

参加者オフライン10名／オンライン23名



② 12月15日(木)

「日本のMSMにおけるPrEPの費用対効果についての分析」

出演者：山本奈央(アリゾナ州立大学博士課程学生)

コメンテーター：塩尻大輔（パーソナルヘルスクリニック院長）

司会：江島啓介（インディアナ大学助教）

参加者オフライン5名／オンライン16名



③ 2023年2月9日(木)

「HIV根治に向けた治療技術の開発について」

出演者：保富康宏(医療基盤・健康・栄養研究所)

コメンテーター：柏崎正雄（エイズ予防財団）

司会：江島啓介（インディアナ大学助教）

参加者オフライン9名／オンライン25名

akta カレーフェスタ

プログラムの目的：

若年層へaktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。また「aktaゆうそう検査(HIV・梅毒)」による検査イメージと、コミュニティ感覚のバランスを図る。

実施内容：

今年度より新しくcommunity center aktaにて利益を目的としない営業範囲に留め、1月22日の「カレーの日」と合わせて、新宿二丁目でも定評のある「bar and」の奏ママによるカレーを、1日限定50食にて提供を行った。

商業施設キーパーソンとコラボすることにより、新規来場者の獲得と、性の健康の情報について触れる機会を提供すると共に、商業施設キーパーソンとのネットワーク構築のキッカケとした。

※新型コロナ対策として、食品衛生責任者の資格を取得し、館内の消毒、換気、食器の管理等をこまめに行い営業に努めた。



結果：

来場者数 52名

当日の様子をYouTubeにて動画配信し、事後報告を行い、aktaへの関心を高め、来場のキッカケとした。



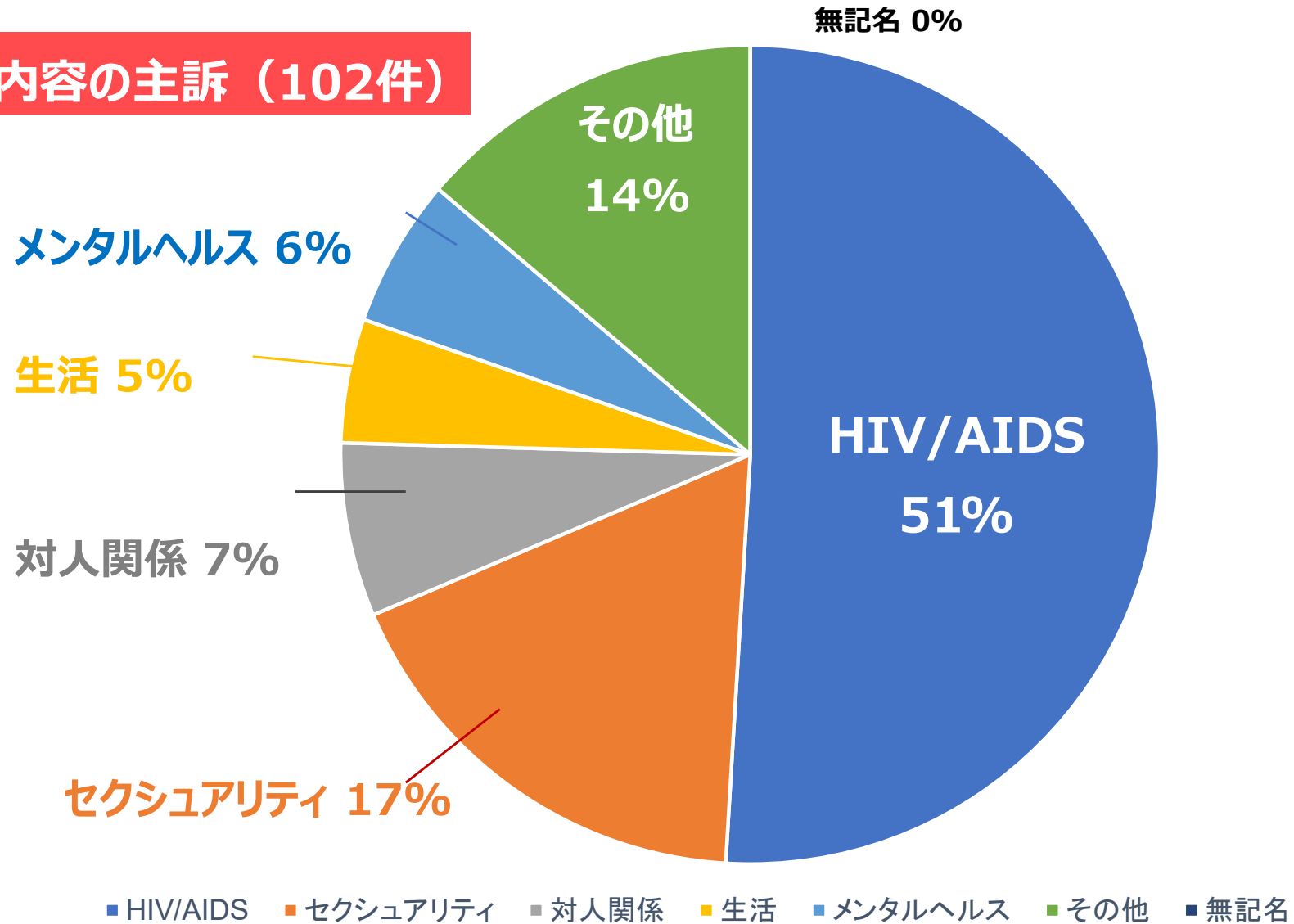
2

相談対応

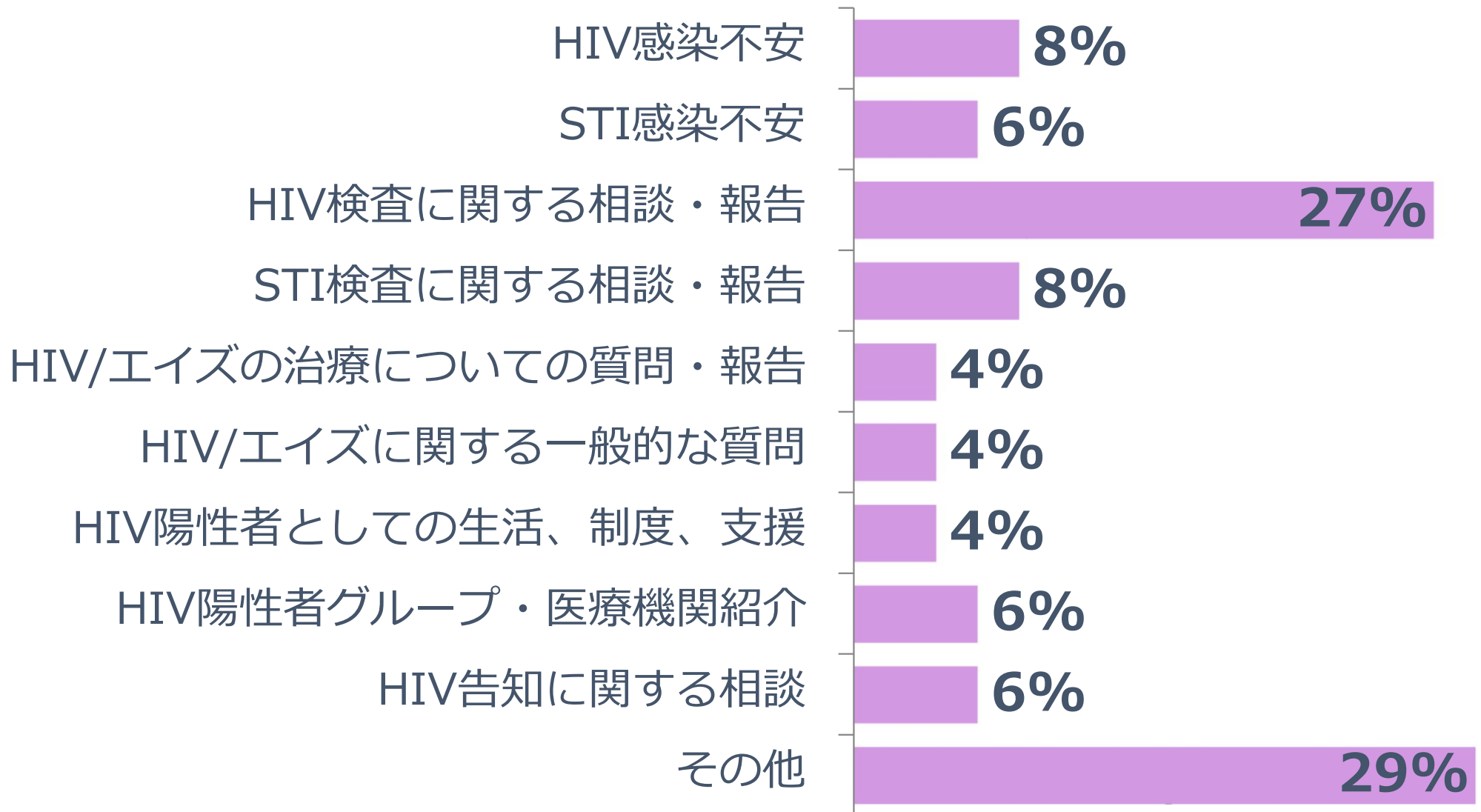
相談対応

セクシュアリティに理解のあるスタッフが
オープンスペースで対応し、支援リソースへつなぐ。

相談内容の主訴（102件）



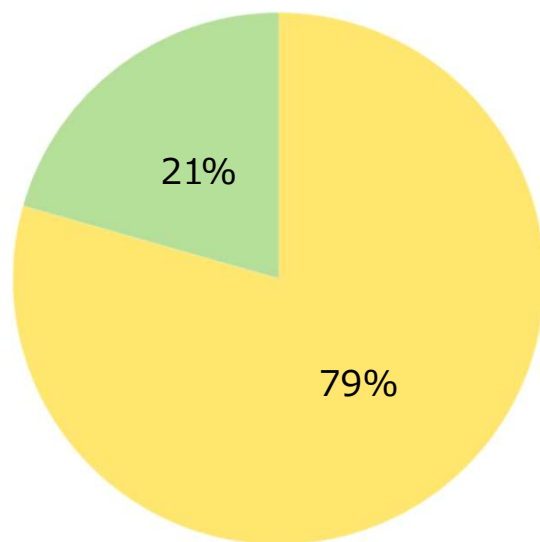
HIV/エイズに関する相談の主訴 (52件の内訳)



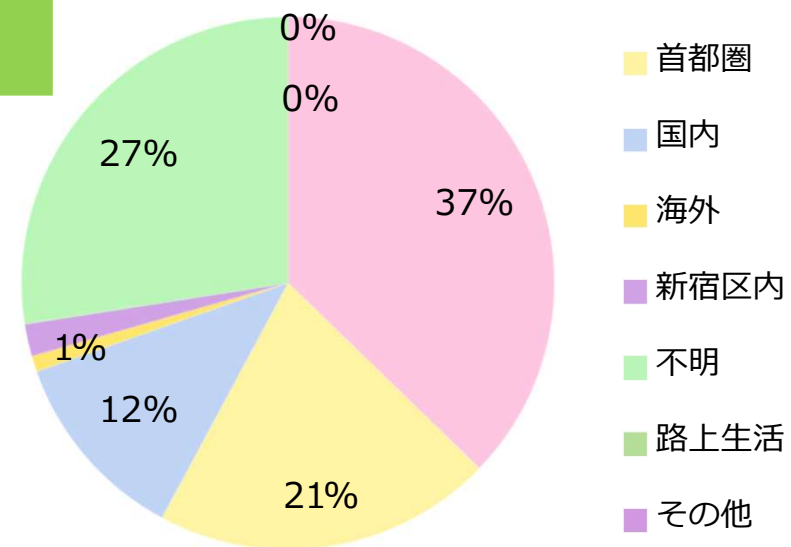
相談者の属性

セクシュアリティ

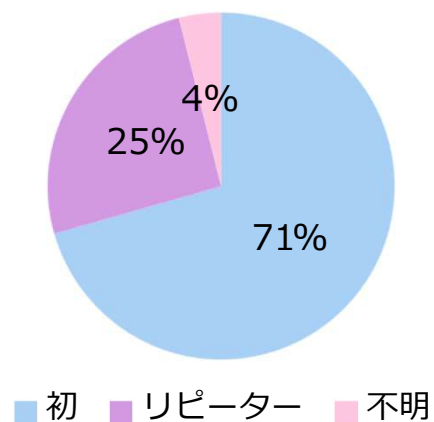
■ ゲイ・バイセクシュアル/MSM ■ その他



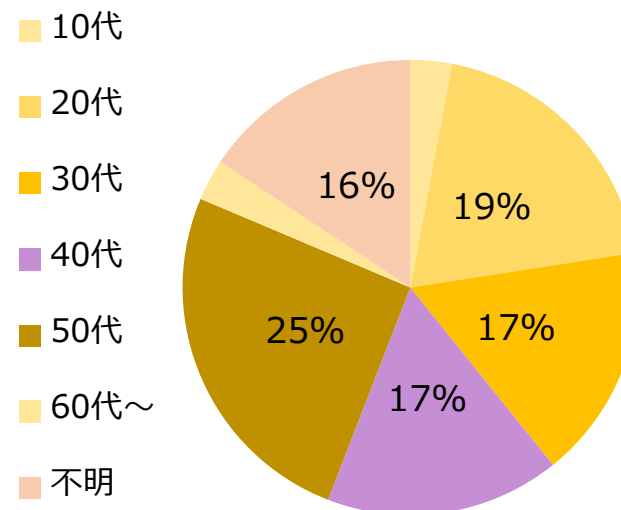
居住地



相談経験



年齢



相談件数102件
(陽性割17.65%)

専門相談員による相談機会の提供

HIVやセクシュアルヘルスについての「相談」のハードルを下げて、心の中のもやもやした気持ちを話したり、知りたいことや迷いにつきあい本人が判断しやすくなるような機会を提供する。

ゲイ・バイセクシュアルなど男性と性行為をする男性（MSM）
若い層、すでにaktaを知っている人（来場経験者やaktaの活動に参加した経験がある人、聞いたことはあるが来たことがない人）



交流会：3名

交流会：2名

スタッフ内部研修会

スタッフ間の情報共有と意見交換を行い、チームで対応の質の向上を図った。また、相談対応及び、センター運営における知識、技術の向上を目的に、専門家を招き、各分野の基礎的な情報について学び、今後の対応や運営について検討のキッカケとした。

①「資料アーカイブ」について

実施日：2022年6月4日 講師：江頭 晃子 氏（ネットワーク・市民アーカイブ事務局・運営委員）

実施内容：資料のアーカイブに関する背景や運動について学び、意見交換を行い、aktaの資料アーカイブに関しての参考とした。

②「デジタルメディアを用いた施策整理」について

実施日：2022年7月3日 講師：柴田 恵 氏（NPO法人akta理事／Google）

実施内容：aktaが行ってきた多くの啓発や活動周知について学び、改めてデジタルマーケティングについて学び、意見交換を行い、今後の啓発や活動周知の参考とした。

③「センター周知の魅せ方・資材制作」について

実施日：2022年度7月7日 講師：金子 英夫 氏（テンテツキ／エディトリアルデザイナー）

実施内容：コミュニティセンターの「これまで」と「これから」についてスタッフ間で意見交換を行い、周知パンフレット制作に向けた魅せ方等の技法について学び、資材制作の参考とした。

④「クリニックにおけるPrEP」について

実施日：2022年度9月29日 講師：佐藤 昭裕 氏（KARADA内科クリニック・五反田医院長）

実施内容：クリニックにおけるPrEP処方状況を知り、相談があった際に適切に情報提供をするための参考とした。

3

予防行動促進プログラム

HAVE A NICE SEX ファクトシート

プログラムの目的

情報が錯綜する中で、正しく情報を入手し、自分にあったものを選択することが難しい時代に、ヘルスリテラシー向上を応援するツールとして、日本におけるHIV/AIDSの状況や、HIVだけではない性感染症の情報、HIVの新常識について取り扱う。また、医療機関や検査場等と連携を取り、医療現場での情報周知にも役立てる内容とする。

内容

今知って欲しいこととして、昨年度は「今のHIV/梅毒動向データ」「B型肝炎」「PrEP」について取り扱い、今年度は「梅毒の検査と治療」をテーマに資材を作成した。
またWEBサイト化をし、オンライン上でも閲覧可能とした。

結果

発行部数：5,000部

配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/164店舗 その他関係機関への発送（特に都内クリニック等、医療機関へ発送）

※検査所や医療機関で配送希望が多数寄せられた。



4

アウトリーチプログラム

目的：定期的に情報を届けてaktaの周知と普及啓発を行う



492ヶ所へ届ける、492ヶ所からの情報発信



アダルトデリバリー

プログラムの目的

性行為が活発に行われるスポットにおいて、セーファーセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて情報をアップデートする機会を提供する。また情報を届けると共に、商業施設とのネットワーキングを構築する。

対象となる人

都内ハッテン場（性風俗店）の顧客と従業員。

実施内容

月に1回、都内ハッテン場（性風俗店）に、性に関する様々なアイデアを配達するアウトリーチ活動。

資材発送

プログラムの目的

直接のアウトリーチができていないゲイバーやハッテン場等の商業施設を含む、全国のMSMを取り巻く関係機関に対し、資材の送付を行う。

実施内容

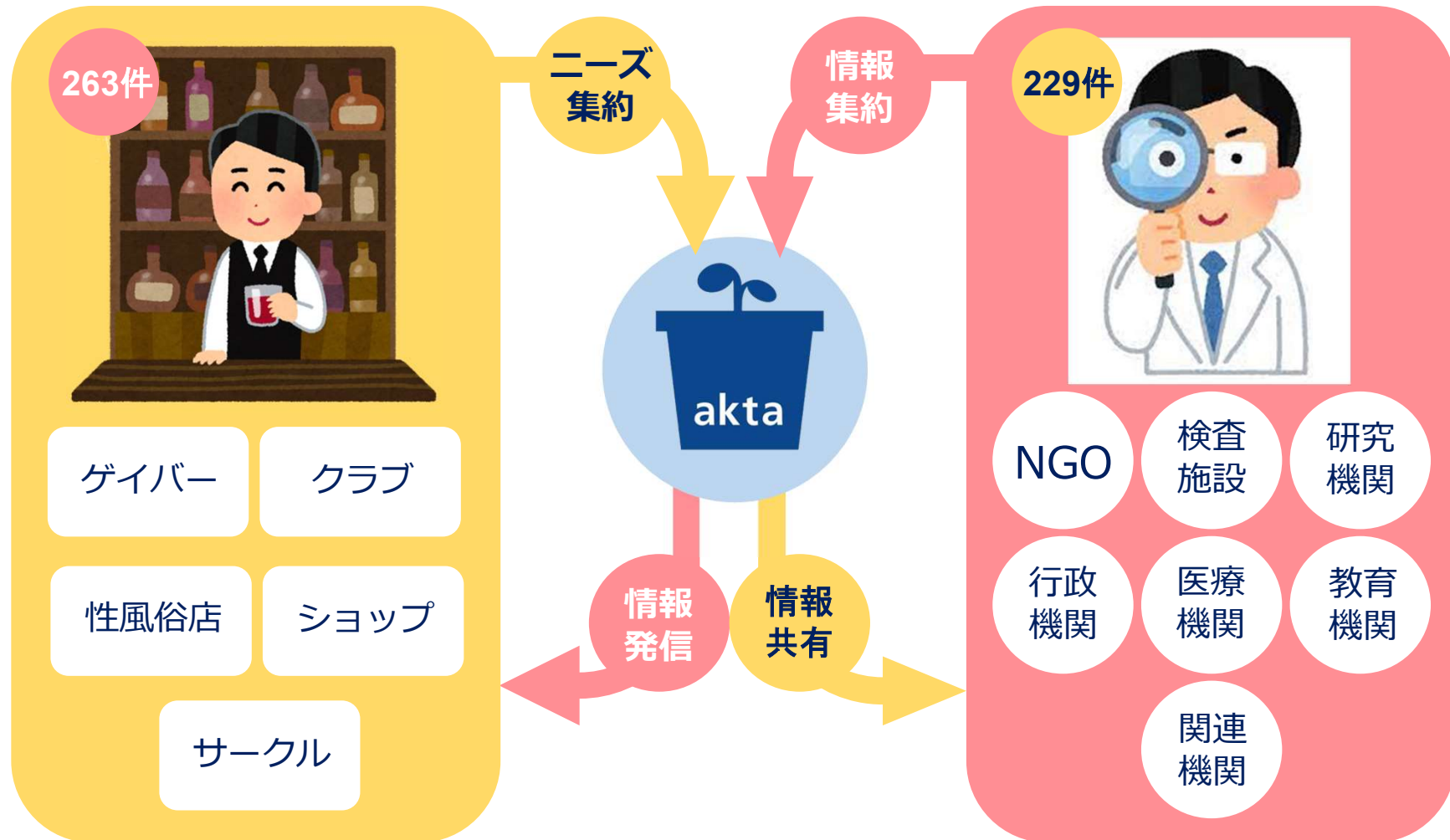
月に1回、下記関係機関へ資材の発送を行う。

行政機関 16件 医療機関 46件
保健所 54件 教育機関 18件 研究機関 7件
HIV・セクシュアリティ関連CBO 32件
その他（企業・個人等） 56件

啓発普及の基点（連携のハブ）

ゲイコミュニティとの連携

HIV関連機関との連携





プログラムの目的

セーファーセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供する。また情報を届けると共に、街や店内の雰囲気や反応をキャッチしてくる。

対象となる人

新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブの顧客と従業員。また、参加するボランティアスタッフも対象となる。



実施内容

毎週金曜日に、お揃いのユニフォームを着て、新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブに、コンドームや性の健康に関する様々なアイデアを配達するアウトリーチ活動。

結果

実施日時：毎週金曜日(第三金曜日を除く)の20時～22時

登録者数：140名(内5～10名前後/回のスタッフが参加)

配布店舗数：164店舗

コンドーム配布数：年間**22,474個** 1回約600～1200個

稼働日数：41日

今年度作成した、 コンドームパッケージ



上野・浅草 アウトリーチ始動



2022年度 の特徴

- ・ 1年間を通して12回の訪問ができた
- ・ コンドーム配布を行い、上野・浅草でもコンドームが根付いた
- ・ 上野・浅草をとり上げたゲイバーマップ(ヤローページ)への期待の声が大い



akta monthly schedule



プログラムの目的：

community center aktaの周知と、DELIVERY BOYSの配布店舗へのインタビュー記事を通し、活動をはじめ、HIVや性感染症へのイメージや二丁目のコミュニティ感覚について考えるキッカケづくりとして発信するフリーペーパー。(2017年4月より配布開始、BARインタビューは2017年8月よりスタート)

紙面版 2021年4月号～2022年1月号までを発行した。
バーママのインタビューだけでなく、関係者のインタビューも試験的に開始！



インタビュー集



ウェブ版

紙面版で載せきれなかった内容をウェブ版にて公開。写真も加わり、より内容を深く掘り下げられます。

結果

発行部数：2022年4月号～2023年3月号まで各号5000部 発行、配布

配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/164店舗 その他商業施設(BAR&ゲイ向け風俗店&ポルノショップ)/91店舗

保健所/54施設 クリニック14施設、行政・教育・医療・研究機関等/79施設、HIV関連NGO/41施設

その他/49施設

akta YouTube チャンネル

動画を制作して、定期的にaktaの活動紹介とHIV・セクシュアルヘルスの情報発信を、YouTube aktaオフィシャルチャンネルから発信！

2019年11月1日スタート！

2022年4月1日～2023年3月31日

視聴回数：54,996回

登録者数：1,014人（前年度より356人増）

参考：

2021年4月～2022年3月

→視聴回数 38,219回



主な動画コンテンツとトピック



akta大学

大学の講義形式で、トピックについてポイント解説を行う。



akta information

aktaの発行物やコンテンツの紹介をピックアップして紹介する。



コミュニティ情報

新宿2丁目を中心としたゲイバーや倶楽部を訪問し、aktaとの関わりを聞く。



新宿2丁目で人気のゲイYouTubeチャンネルとコラボ！これまでメディアとしてなかなかとり上げづらかったデリバリーボーイズの活動を映像化！

aktaとの関わり

5

ウェブサイトを用いた啓発

akta.jp ~WEB上でのaktaの入り口

プログラムの目的

ゲイ商業施設にアクセスしない層や、ネット利用に止まる若年層をセンターへ集客するため、ホームページを運営して活動の見える化と啓発・周知を行う。

内容

community center aktaと、そのプログラムを紹介するサイト。
コロナ禍の影響を受け、センターに来られない人のために「ライブラリ」として、サイト上での資料のアーカイブ閲覧や受け取りの方法を整備した。

結果

ユーザー数：122,779名（同期比：151.50%）



※2022年5月に梅毒のウェブサイトのキャンペーンを実施

HIVマップ

すぐに役立つHIVの情報サイト



プログラムの目的

主にMSMに向けた相談支援として位置づけたサイトを運営。総合情報サイトとして、支援情報、検査情報、基礎知識、最新の情報などについて網羅する。

内容

各種コンテンツの情報更新に合わせ、HIV予防の方法の多様化（PrEP、U=Uなど）に合わせた啓発やメッセージ・コンテンツの発信を行う。



リソース HIVお役立ちナビ

予防啓発/検査/治療/支援などを紹介するリンク集

基礎知識 HIV/エイズガイド

HIVの基礎知識について、マンガとテキストで紹介

検査情報 あんしん検査サーチ

保健所検査等、首都圏MSM向け検査情報提供

最新情報 ポスト

HIVや性感染症など今必要なMSMの性の健康情報

2022年度の施策と結果

アクセス
ユーザー数

ページ
閲覧数

+28%

+11%

(2022年度 vs 2021年度の比較において)

2022年度は、2021年度に開始した今必要な情報をコンパクトにまとめた「ポスト」の更新や、キャンペーンの展開、エムボックス（サル痘）に関する最新情報提供などを実施。アクセスユーザー数が22年度の18万人程度から24万人程度、ページの総閲覧数も、44万件程度から49万件に大幅アップ。

サル痘（mpox）が日本で感染拡大 ～現状を知って感染リスクを下げよう～

February 25, 2023 Modified: 2023.02.25

2023年02月25日（日）公開



サル痘（mpox）は、もともとはアフリカの一部の国々の、主に動物から人間に感染する病気として知られていました。しかし、2022年5月以降、欧米を中心に人間から人間への感染

6

Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

**WE'RE
ALREADY
LIVING
TOGETHER.**

HIVを持っている人も、
そうじゃない人も、
まだ分からない人も。
わたしたちはすでに、
いっしょに生きている。

**WE'RE ALREADY
LIVING TOGETHER.**

Living Together のど自慢

プログラムの目的

- ・HIVを自分の事として、身近に捉える機会を提供する
- ・陽性者の声を可視化して、スティグマを低減し、誰もが暮らしやすい社会へ

実施内容 HIV陽性者・周囲の人の手記の朗読 + カラオケ

2022年6月19日(日) 第58回目実施@九州男
2022年10月10日(日) 第59回目実施@九州男
2023年1月9日(月祝) 第60回目実施予定@九州男

結果

・イベントへの参加経験が、HIVの会話経験や検査行動につながっていることがわかった



他、LT関連イベント/出張等

REDawareness :

2022年12月1日(木)～11日(日) @akta 110名来場

Being & Belonging :

2022年12月3日(土)@akta 25名来場

Living Together aktaライブショー :

2023年2月23日(木) @akta 33名来場



「Living Together のど自慢」

次回 8月13日（日）開催！



https://www.youtube.com/watch?v=JRPzitW8F_Q



WE'RE ALREADY LIVING TOGETHER.

Living Together のど自慢62

HIV陽性者・周囲の人の手記リーディング+カラオケ!

どんなイベントなの？
こちらからチェック

2023.08.13.(日) 17:00-19:00 500yen (1drink)
スナック九州男 新宿区新宿 2-17-1 サンフラワービル 3F

問い合わせ：akta03-3226-8998 (15:00-21:00) office@akta.jp
主催：NPO 法人 akta 協力：九州男、ぶれいず東京、Living Together 計画、東京都福祉保健局

TOKYO RAINBOW PRIDE 2023

(4/23)

UPDATE
HIV



3つのゼロで日本を #UPDATE

東京レインボープライド 2023



「#updateHIV」フロート

NGOが協働して4年ぶりに出展。
HIV陽性のメンバーを先頭に250人が一緒に歩きました。

参加団体：

akta, ぷれいす東京, JaNP+,
エイズ予防財団

協力：

ViiVヘルスケア, ギリアド・サイエンシズほか



7

HIV検査普及プログラム

ヤローページ

プログラムの目的

MSMが安心して検査を受けることができる検査環境を整備した上で、東京都内の検査施設等の検査情報とゲイタウンの商業施設情報を同時に案内する資料を開発することで幅広い層に周知し、HIV感染予防およびエイズ発症予防を喚起し自主的な検査行動を促進する。またコミュニティとの連携を強化し、二丁目のコミュニティを応援する。

内容

前回2019年に新宿版を発行後、3年ぶりの発行となる。前回に引き続き「新宿版」として、新宿二丁目の商業施設情報と一緒に、公的検査機関情報のほか、PrEPに対応するため**都内クリニック12施設他、医療機関**を紹介。

結果

発行部数：6,000部

配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/164
店舗

その他関係機関への発送

新宿二丁目交差点のビルボードのジャックを
12月～1月初旬まで行った。



新宿二丁目のスポットガイド&HIV検査情報・MAP

ヤローページ

TAKE FREE

この街とともに、楽しい生活を送っていくために。

ヤローページには最新の新宿二丁目スポットガイドや
都内で検査が受けられる保健所・クリニックなどを紹介しています。
時には自分のカラダの状態を知ることや
セックスについて振り返ってみたりすることも大切です。
ヤローページは、各ゲイバーやコミュニティセンターaktaでゲットできます。
ぜひ、この一冊をお役立てください。



newTOKYO 9MONSTERS

検査環境の整備と検査行動の促進 保健師（HIV検査担当者）研修会

東京都

東京都福祉保健局
健康安全室感染症対策課
エイズ対策係

神奈川県

神奈川県保健福祉局
健康医療部健康危機管理課
感染対策グループ

千葉県

千葉県保健福祉部
疾病対策課
感染対策室

埼玉県

埼玉県保健医療部
保健医療政策課 感染症・
新型インフルエンザ対策担当

エイズ予防のための戦略研究以降毎年実施されてきた保健師研修会が、COVID-19の影響により中止となったが、今年度は各自治体と調整を行い、**すべての地域で研修会を再開**。積極的に講師として協力した。



東京都

2022年12月2日実施

神奈川県

2023年3月17日実施
(オンライン開催)

千葉県

2022年10月17日実施

埼玉県

2022年9月15日実施

主な研修内容

講義：各自治体の現状報告／性の多様性／地域での効果的な啓発方法について

ワークショップ①：reading work／保健所の情報交換／課題の確認

ワークショップ②：模擬対応／セクシュアリティに配慮した相談の実際／検査相談に利用できる資材やNPOの活動紹介

MSMへの理解を深め、MSMが安心して検査を受けられる環境整備

行政機関と連携した検査広報

東京都

各保健所の個別情報→ウェブサイト紹介
都の検査施設のみ紹介、4000部作成・配布



新宿区保健所

ゲイのためのエイズ・性感染症検査



みなと保健所

新橋あんしん検査



千葉県

MSM向け休日検査→ウェブバナー広報
受検者へ配布する情報カード、コンドーム、3000部作成・配布
検査結果待合時に見れ啓発動画制作

WEBバナー



情報カード



コンドーム



啓発動画

8

調査・研究

aktaゆうそう検査

プログラムの目的

新型コロナウイルス感染症の影響によりHIV・梅毒の検査機会を失っているMSMに対し、厚生労働省エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入に関する研究」の一環で実施される「ゆうそう検査」の広報に協力することで、MSMに対するHIV・梅毒検査機会向上に貢献する。

内容

コミュニティセンターを利用したMSM向けHIV/梅毒の郵送検査キットの配布。確認検査受入機関として、行政の他、東京都内15の医療機関と連携を行った。また英国の研究チームと連携を行い、デジタルディスペンサーを導入し、対面とデジタルディスペンサーの選べる受け取り方法の試行を行った。

結果

配布数：499個（対面：176個／ディス：323個）
配布期間：2022年7月23日～2022年11月12日
広報：ポスター、9monsters（起動時全画面バナー、帯バナー）



2023年3月には、クラブイベントでの国内産ディスペンサーによる配布の試行も実施。好評を博した。

model: KENZO photo: Nozomi Nishi

FINAL!
11.13まで
MAMONAKU!
SHU-RYO!

HIV・梅毒 無料

akta ゆうそう検査 2022

木曜～日曜15:00から21:00に
新宿2丁目aktaで検査キットをGET!

mpox(サル痘)アンケート

参加者リクルート	ゲイ向けアプリに広告掲載
実施期間	2023年2月17日～3月9日 (21日間)
集計対象回答数	1,880件 うち首都圏4県居住者 53%

平均年齢	42.1歳（標準偏差10.4歳）
akta認知	33%（首都圏では45%）
mpoxの流行知っている	1,738名（92%）



厚生労働科学指定研究事業「バイオテロ対策のための 備蓄されている細胞培養痘そうワクチンの備蓄等, バイオテロ 病原体への検査対応, 公衆衛生との関連のあり方に関する研究」
分担研究者 岩橋恒太、解析 金子典代(名古屋市立大学)、本間隆之（山梨県立大学）

mpox(サル痘)アンケート結果の一部



新しい感染症が流行した時、どこから情報を得るか

インターネット	89%
テレビのニュース	43%
SNS	38%
NPO/NGOなど	20%

mpoxに感染したかもしれないと思った時の受診や相談先

知っている	34%	→	HIV陽性の人	44%
よく知っている・知っているの合計			それ以外の人	33%

$p < 0.001$

性感染症で受診時、セクシュアリティについて話せるか？

話せる	36%	→	HIV陽性の人	65%
とても・まあ気軽に話せるの合計			それ以外の人	31%

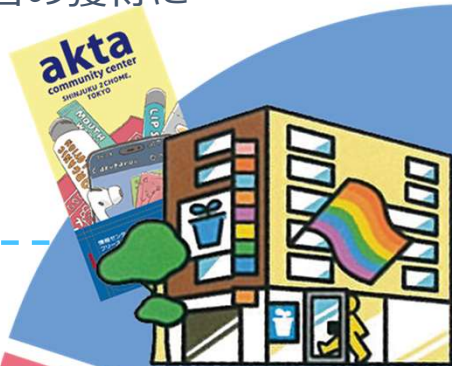
$p < 0.001$

— 2022年度のまとめ —

センター

センターの顔となるパンフレットの作成に力を入れ、展覧会や見学対応等も積極的に行い、来場者の獲得に努めた。

↑UP
1.6倍



↑↑↑
6000部配布
検査普及

今一度、二丁目の魅力を通し、街への流入と、検査行動促進を促すキッカケとなった。


YouTube Channel

上野・浅草
毎月**35軒**

アウトリーチ

毎月安定的に、上野・浅草地域へのアウトリーチを行い、関係構築を行った。



TEST ↑
500件配布
調査・研究

デジタルディスペンサーを用いて、選べる受け取り方法の施策を行った。また日本版のディスペンサーの開発を行い、他地域展開への可能性を探った。



ウェブサイト

バーママや人気YouTuberとのコラボ企画により登録者を増やし、情報発信に努めた。

↑↑↑
356人増